

創刊！
二
塩屋まちづくりの
ニュースレター

Shioya
Machizukuri
NEWSLETTER

塩屋のためのまちづくり
の
2006
Spring
No. 01

塩屋まちづくり推進会 編集/発行

あなたの参加がこの街を変える。

参加をまっています！

「定例勉強会」毎月やります。

このまちの将来について、まなび、考え、話し合い、行動します。楽しく、まじめに、愉快地、真摯に、自由に、気軽に、前向きに。定例勉強会は誰でも自由に参加できます。遅刻・早退も遠慮なく。原則として毎月第2水曜日の午後7時～9時に開催する予定です。場所は塩屋地域福祉センター（塩屋児童館）です（右の地図参照）。



5月・6月の予定

5/10 (水) 19:00-21:00

6/14 (水) 19:00-21:00

緊急車両の入れない
曲がりくねった狭い道、
傷みつつある街のシンボル・異人館、
姿を変えた塩屋谷川や塩屋海岸・・・
このままでいいのだろうか？
みなさんの参加を待っています。

まちづくりの始動！

「塩屋まちづくり推進会」できました。

去る2006年4月9日（日）、塩屋地域福祉センターにて、「塩屋まちづくり推進会」設立総会が開催され、正式に発足しました。地域の参加者は42名、その他に神戸市都市計画総局地域支援室、神戸市都市計画総局計画課、垂水区まちづくり推進課、まちづくりコンサルタントの㈱都市調査計画事務所のみなさんがオブザーバーとして出席されました。議事の内容等は裏面をご覧ください。



2006 年度・事業計画

【①地域のまちづくりの研究及び協議】

誰もが自由に参加できる場として、おおむね月1回の「定例勉強会」を開催します。

【②まちづくり構想の策定】

「誇りを持って愉しく住み続けられる」まちの将来像を検討します。

【③まちづくりルールの策定】

「歴史・地域文化・自然環境」を守り、育てるルールづくりを検討します。

【④まちづくり構想に基づくものづくり推進】

都市計画道路塩屋多井畑線などについての勉強会をすすめます。

【⑤まちづくりに係る情報共有のための広報】

会の活動やまちづくりの情報を共有するためのニュースを発行します。

【⑥その他の事業】

「構想」や「ルール」の検討のためのまちあるきやワークショップ、意向調査等を実施します。



2006 年度・収支予算

【収入の部】

助成金	300,000円 (神戸市まちづくり活動助成金)
合計	300,000円

【支出の部】

事業費	30,000円 (地域の調査・研究費、ワークショップ経費等)
印刷費	225,000円 (ニュース(2回)、アンケート調査票)
会議費	22,500円 (勉強会等(15回)の会場使用料)
通信費	15,000円 (ニュース配布費、電話代など)
雑費	7,500円 (資料コピー代、事務用品等)
合計	300,000円



役員紹介

会 長	原田 幸男	(塩屋町9丁目)
副会長	松本 徹	(塩屋町1丁目)・櫻井 恵介 (塩屋町8丁目)
会 計	西村 文夫	(塩屋町3丁目)・柏木 康明 (青山台1丁目)
事務局長	森本 アリ	(塩屋町5丁目)
幹 事	中塚 信昭	(下畑町下代)・児玉 正信 (下畑町下代)
	森本磨貴子	(塩屋町5丁目)・嘉村 正雄 (塩屋町3丁目)
	デュルト サラ	(塩屋町2丁目)・岸部 克俊 (塩屋町1丁目)
監 査	山中 年郎	(塩屋町8丁目)・河谷 有美 (塩屋町8丁目)

設立総会での議決事項

今年度の事業計画・収支予算が決定しました。まだまだ手探りの状態ですが、定例勉強会の中で自由に意見交換しながら、柔軟に取り組んでいきたいと考えています。また、下記のように役員も決まりました。でも、この会は役員だけで進めるものではありません。塩屋のまちを良くしていきたい、という思いを持つ人びと誰もが参加できる場です。何ら資格も肩書きも関係ありません。あなたの参加がこの街を変える、そういう会をめざしています。

